

第1回 歯科移植再生学セミナー

「歯科インプラント治療の最近の進歩と再生医療との関わり」

講師：春日井 昇平 教授

東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
口腔機能再構築学系専攻 摂食機能回復学講座
インプラント・口腔再生医学分野

日時：平成20年6月25日(水) 午後5時30分より

場所：歯学部 大会議室

1965年にブローネマルクがチタン製のスクリュータイプの歯科インプラント（以下インプラント）の臨床試験を開始してから40年以上の年月が経過し、インプラント治療は確実な治療法となっています。近年のインプラント体のデザインやインプラント表面、放射線学的診断法、外科手術法、補綴材料、補綴物の作成法の進歩は著しく、従来考えられなかった審美的な治療や早期の機能回復が可能になっています。

一方で、失われた組織あるいは機能の低下した組織を再生させる再生医療への期待が高まっています。歯科においてもいくつかの再生医療が既におこなわれており、歯の再生医療を目的とした研究も開始されています。今後歯科での再生医療の比率は増加していくことが予想されますが、そのような状況においてインプラント治療は再生医療とどのように関わっていくのでしょうか。

本講演においては、演者がおこなっているインプラント治療を紹介し、今後10年あるいは20年の近未来においてインプラント治療が再生医療とどのように関わっていくかについての演者の考えを述べさせていただきます。

主催： 歯科基礎移植・再生学分野

共催： 新潟歯学会

新潟再生医療プロジェクト

連絡先： 025-227-2844 (小神浩幸)